情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦　2025 年 6 月 1 日作成　第 3.0 版

研究課題名	当院における重症患者を対象とした患者転帰と患者背景及び入院中の介入を検討するデータベース研究
研究の対象	2014 年 4 月～2024 年 3 月の間に、横浜市立大学附属病院の特定集中治療室（ICU）、高度治療室（HCU）、救急治療室（ACU）、心臓疾患集中治療室（CCU）に入室された患者さんを対象とします。
研究の目的	ICU、HCU、CCU、ACU へ入室される重症患者さんには、積極的な栄養療法を実践することで機能的予後の改善につながることが期待されています。そこで、当院に入院された重症患者さんの入院時の背景や状態、入院中の栄養療法、退院時の栄養状態や ADL などの転帰に関連する情報を収集し、当院における栄養療法に関するデータベースを作成します。今後の栄養療法に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、栄養療法の実践状況と退院時の栄養状態や ADL などの転帰について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦　2024 年　8 月　6 日（研究機関の長の許可日）　～　西暦　2027 年　3 月　31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦　2024 年　8 月　6 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報：年齢、性別、既往歴等 ・手術情報：術式等 ・血液検査、画像検査、尿検査の結果 ・治療内容 ・多職種の介入状況 ・栄養療法実施状況 ・転帰
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長でありますが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院　集中治療部　菅沼進也
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は資金を要しない研究であり、資金が必要となった際は、研究責任者が負担して行います。本研究において、開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 研究責任者：横浜市立大学附属病院　集中治療部　菅沼進也

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004　横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院　集中治療部　（研究責任者・問い合わせ担当者）菅沼進也

電話番号：045－787-2800（代表）　　FAX：045-787-2916